

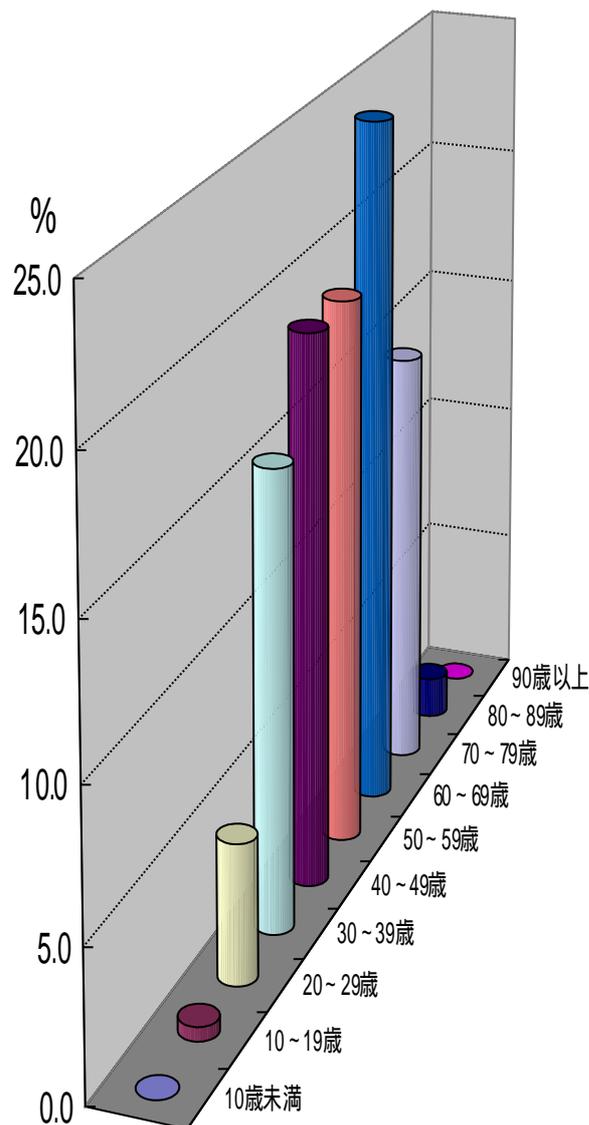
平成21年11月実施 動物愛護に関する意識調査(初回) 結果

対象世帯：450世帯(区内会に加入しており今回の調査票を配付した世帯)

回答世帯：211世帯(対象世帯の46.9%)

質問1 お答えいただいている方の年齢層を教えてください。

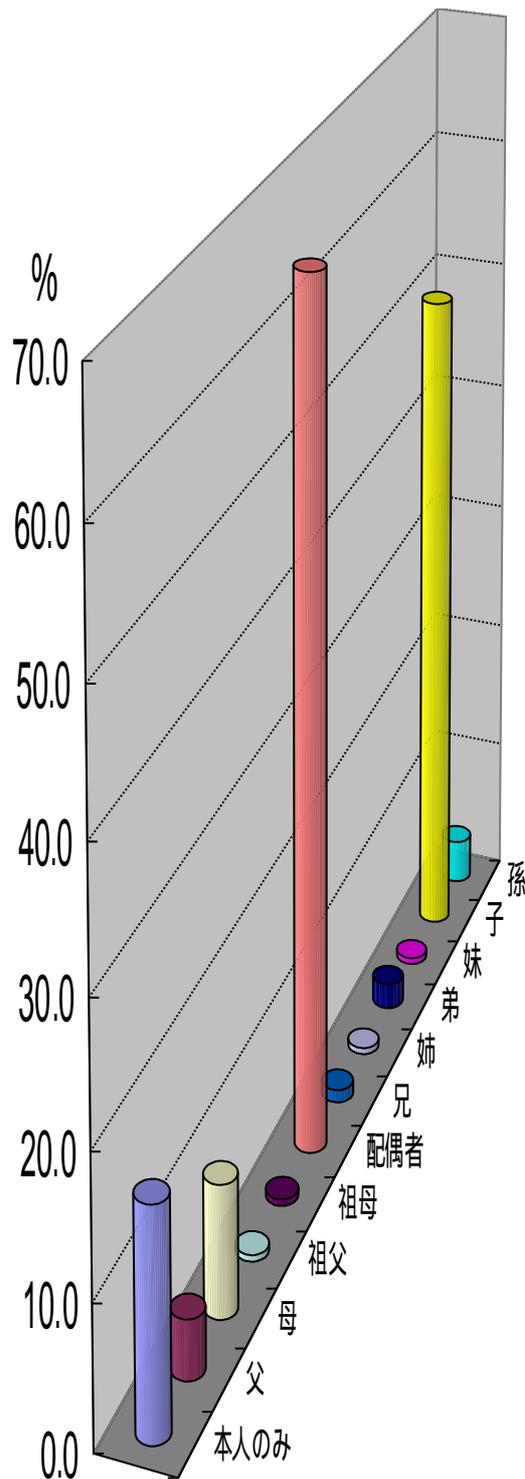
10歳未満	0(0.0%)	50~59歳	40(19.0%)
10~19歳	1(0.5%)	60~69歳	51(24.2%)
20~29歳	10(4.7%)	70~79歳	31(14.7%)
30~39歳	33(15.6%)	80~89歳	3(1.4%)
40~49歳	40(19.0%)	90歳以上	0(0.0%)



調査結果から、60歳台の方からの回答が最も多く、主に30~70歳台の、幅広い年齢層のみなさんから回答をいただきました。

質問2 お答えいただいている方以外の家族構成を教えてください。(複数回答可)

本人のみ	34 (16.1%)	兄	2 (0.9%)
父	9 (4.3%)	姉	1 (0.5%)
母	20 (9.5%)	弟	4 (1.9%)
祖父	1 (0.5%)	妹	1 (0.5%)
祖母	1 (0.5%)	子	106 (50.2%)
配偶者	135 (64.0%)	孫	7 (3.3%)



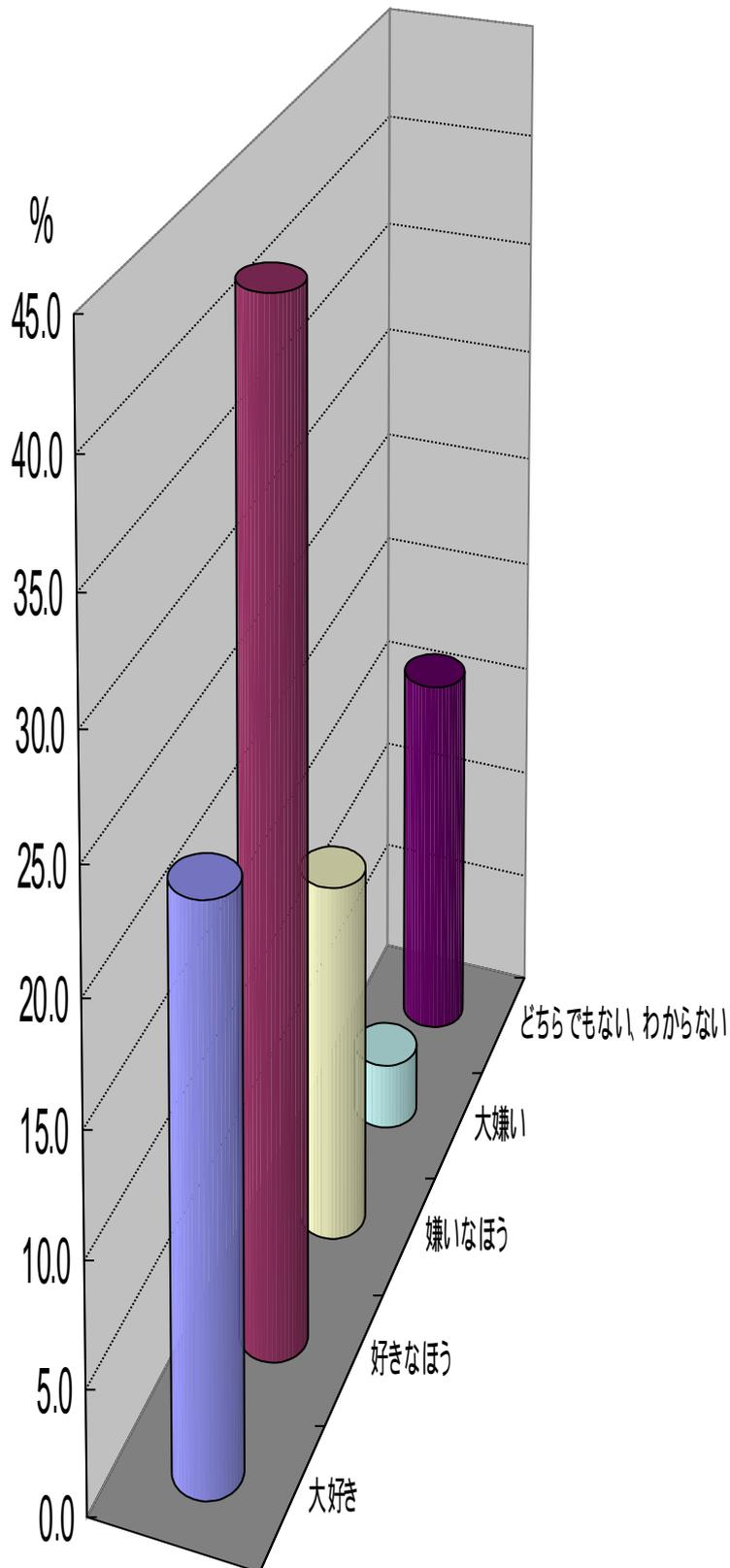
調査結果から、独身や一人暮らしのみなさんからの回答が少なく、主に子どもを持つ世帯主やその配偶者のみなさんから回答をいただきました。

この地区には子どもを持つ世帯が多いことがうかがえます。

質問3 犬が好きですか。

大好き 49(23.2%)
好きなほう 90(42.7%)
嫌いなほう 32(15.2%)

大嫌い 6(2.8%)
どちらでもない、わからない 34(16.1%)



調査結果から、
大好き、好きなほう、を合わせると約66%と、およそ3世帯に2世帯は犬に対して好意的であり、良い印象を持っていることがうかがえます。

質問4 それは、なぜですか。

(好きな理由)

- ・ 狩猟に用いるから
- ・ 可愛いから
- ・ 癒されるから
- ・ 人間の言葉がわかるから
- ・ 動物が好きだから
- ・ 従順だから
- ・ 毛がホワホワしてるから
- ・ 幼少より動物がそばにいたから
- ・ 純粋だから
- ・ 忠実だから
- ・ 懐くから
- ・ 嫌な思い出がないから
- ・ 愛おしいから
- ・ 近所で飼われているから
- ・ 意思疎通ができるから

(好きでない理由)

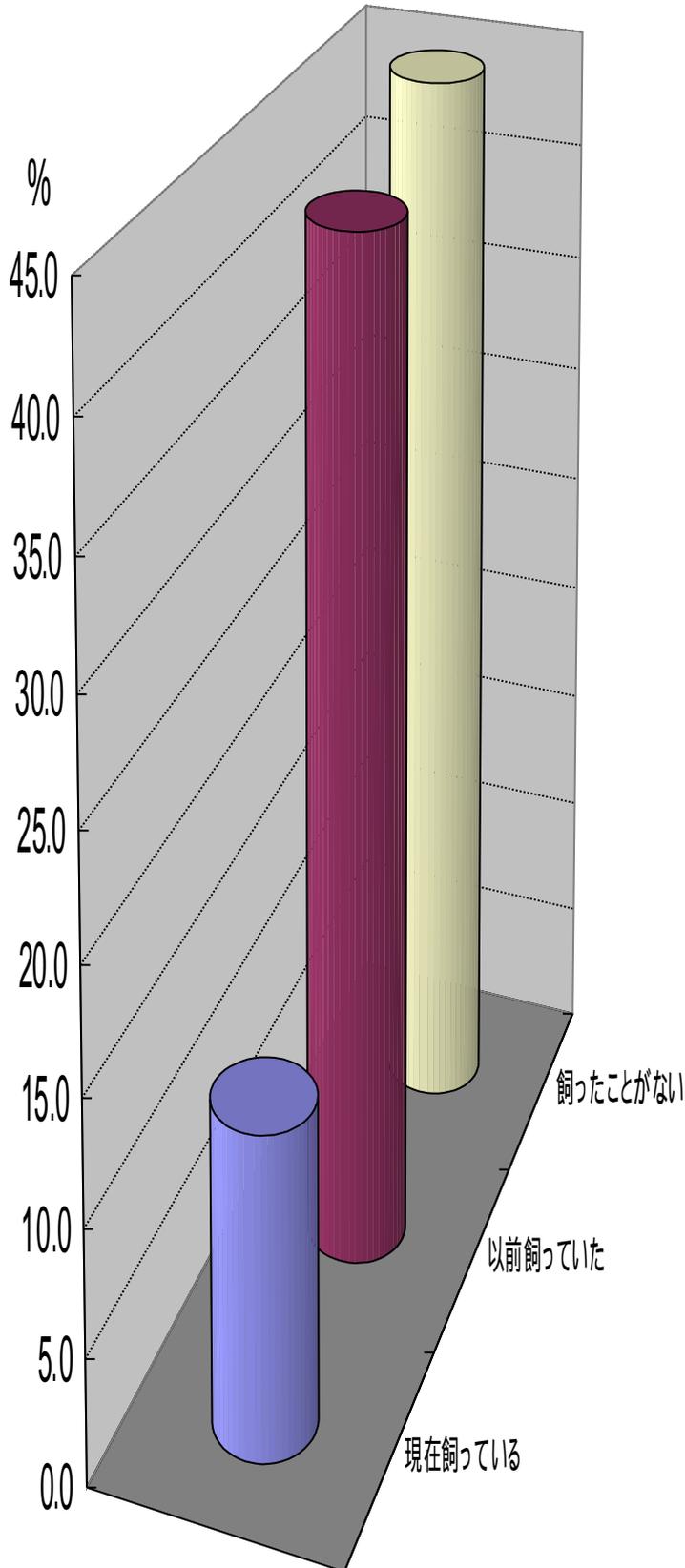
- ・ 興味なし
- ・ しつけのできない飼い主のマナーが悪いから
- ・ 怖いから
- ・ 世話が難しいから
- ・ 以前咬まれたから
- ・ 啼き声がうるさいから
- ・ フンの処理が面倒だから
- ・ 好かれないから
- ・ 臭いから
- ・ 触れるのが苦手だから
- ・ 大型犬は苦手だから
- ・ 動物が苦手だから
- ・ 以前追いかけられたから
- ・ 飼ってみないとわからないから
- ・ 吠えるから
- ・ 縁がないから
- ・ フン害に困っているから
- ・ 毛が抜けるから

調査結果から、好きな理由には、人間に対して従属的な立場にあることに起因するものが多く、嫌いな理由には、無駄吠えやフンの処理など、飼い主の管理、マナーの低下に起因するものが多いことがうかがえます。

質問5 犬を飼った経験がありますか。

現在飼っている 27(12.8%)
以前飼っていた 89(42.2%)

飼ったことがない 94(44.5%)



調査結果から、
現在飼っている、
以前飼っていた、を合
わせると約55%と、
およそ半数の世帯は
犬を飼った経験があ
ることがわかりまし
た。

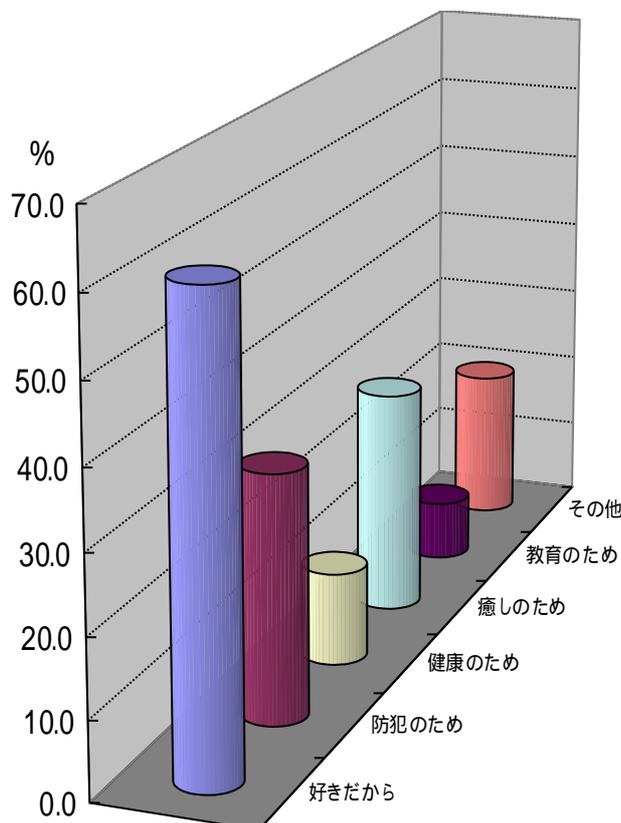
ここから質問 12 までは、質問 5 で 現在飼っている、 以前飼っていた、とお
 答えいただいた方のみお答えください。
 回答世帯：116 世帯（対象世帯の 25.2%）

質問 6 どのような目的で飼っていますか（いましたか）。（複数回答可）

好きだから	70(60.3%)	癒しのため	34(29.3%)
防犯のため	37(31.9%)	教育のため	9(7.8%)
健康のため	14(12.1%)	その他	23(19.8%)

（その他の目的）

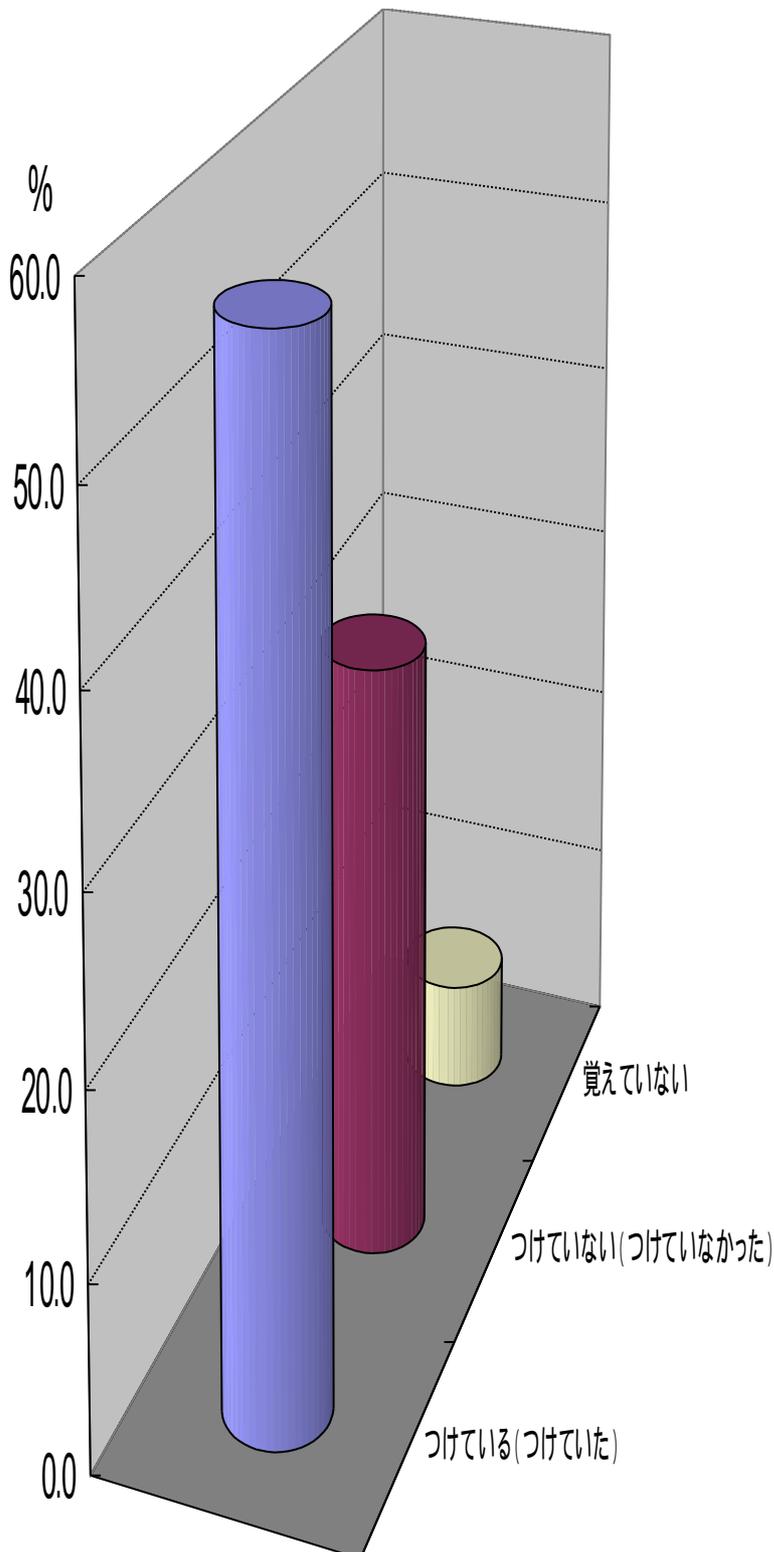
- ・ 狩猟に用いるから
- ・ 子どもにせがまれたから
- ・ 孫にせがまれたから
- ・ 迷い犬を保護したから
- ・ アニマルセラピーが欲しかったから
- ・ 実家で飼っていたから
- ・ 捨て犬を保護したから
- ・ 譲られたから
- ・ 子どもが幼少であったから
- ・ 子どもの飼い犬を預かったから
- ・ 子どもとの和が欲しかったから
- ・ 咬まれるまでは好きだったから



調査結果から、好きだから、などの理由の他に、せがまれた、預かった、など必ずしも望んで飼い始めたとはいえない理由も少なからずあることがわかりました。

質問7 飼い犬に飼い主が特定できる目印（犬鑑札、名札等）をつけていますか（いましたか）

つけている（つけていた）	66(56.9%)
つけていない（つけていなかった）	38(32.8%)
覚えていない	7(6.0%)



調査結果から、およそ6割の世帯で個体識別措置を講じている、または講じていたことがわかりました。

つけられた目印が全て登録された鑑札であるとは言えませんが、鑑札及び狂犬病予防注射済票の様式を各自自治体で定められるよう省令が改正された要因の一つが、鑑札等の装着率低下であることをふまえると、少なくともこの地区での犬に講ずる個体識別措置に対する意識は比較的高いことがうかがえます。

質問8 それは、なぜですか。

(つけている、いた理由)

- ・ 飼い主の義務だから
- ・ 放れた時必要だから
- ・ 迷惑をかけないように
- ・ 飼い主がすぐわかるように
- ・ 飼い主の責任だから
- ・ 行政指導を受けたから
- ・ 注射の証明だから
- ・ ファッション
- ・ つけてないと野良犬になるから

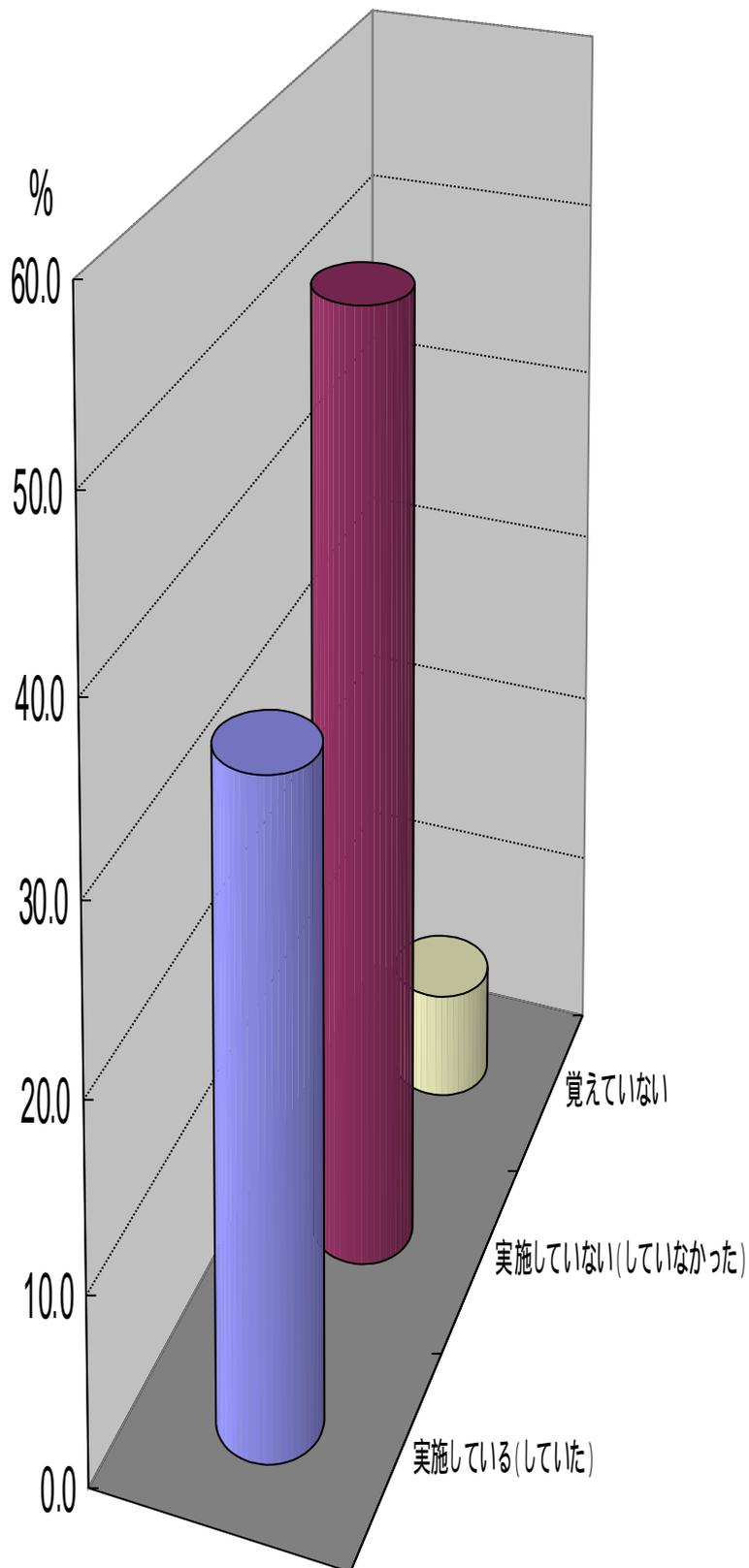
(つけていない、いなかった理由)

- ・ 犬が幼弱だから
- ・ 屋内飼いだから
- ・ 放し飼いしないから
- ・ 必要性を感じないから
- ・ 20年前は今ほど厳しくなかったから
- ・ 特別な首輪だから
- ・ 必要だと知らなかった
- ・ 60年前はそれが普通だったから
- ・ 30年前は規定がなかったから

調査結果から、つけている理由には、責任の所在を明確にしたい飼い主の意識に起因するものが多く、つけていない理由には、必要であると思えない飼育環境に起因するものが多いことがうかがえます。

質問9 飼い犬に不妊・去勢手術を実施していますか(いましたか)。

実施している(していた)	41(35.3%)
実施していない(していなかった)	61(52.6%)
覚えていない	7(6.0%)



調査結果から、半数以上の世帯で不妊・去勢手術が講じられていない、または講じられていなかったことがわかりました。

質問 10 それは、なぜですか。

(手術している、した理由)

- ・ しつけのため
- ・ 健康面のため
- ・ 飼い主の責任だから
- ・ 他の犬に迷惑をかけないように
- ・ 繁殖を望まなかったから
- ・ 不本意な結果を生まないように
- ・ 万一の備えのため
- ・ 犬のため
- ・ 吠えにくくさせるため
- ・ 問題行動を防止するため
- ・ 生まれた子犬まで飼えないから
- ・ 生まれた子犬に責任が持てないから
- ・ 子犬を増やさないように

(手術していない、しなかった理由)

- ・ オスだったから
- ・ 屋内飼いだから
- ・ 放し飼いしないから
- ・ 金銭面のため
- ・ 必要性を感じないから
- ・ 検討中だから
- ・ 生まれた子犬のもらい手に困らないから
- ・ 犬は手術を望まないはずだから
- ・ 犬の身体を勝手に傷付けたくないから
- ・ 繁殖を望んでいるから
- ・ 認識不足だったから
- ・ 気が回らなかったから
- ・ 当時は手術がかわいそうだと思っていたから
- ・ 生後間もなく死亡したから
- ・ 動物本来の姿だから
- ・ 手術という方法を知らなかった
- ・ 60年前はそれが普通だったから

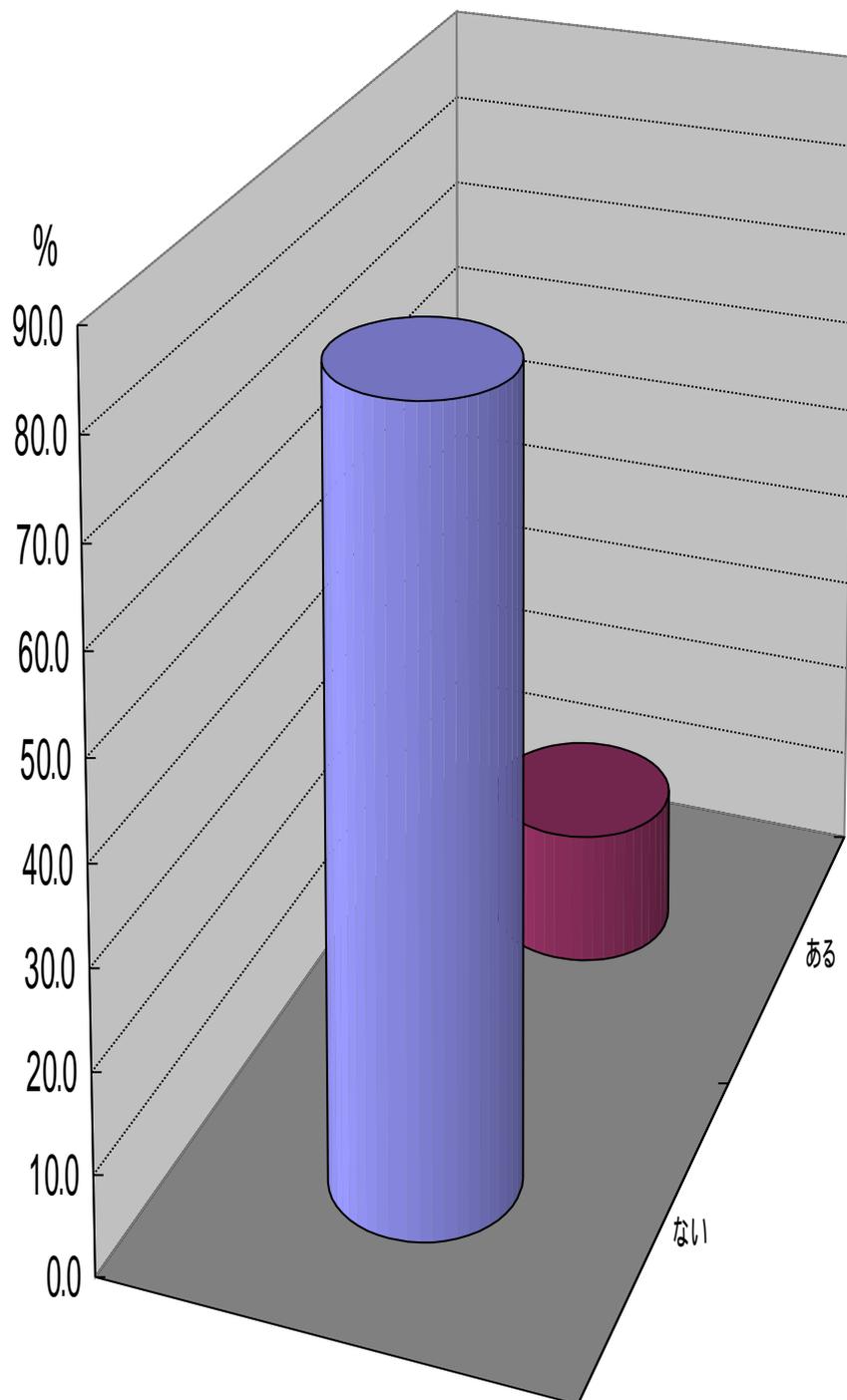
調査結果から、手術した理由には、近隣の住民や犬のみならず生まれてくる子犬に対する飼い主の責任意識に起因するものが多く、手術していない理由には、個体識別措置同様、必要であると思えない飼育環境に起因するものが多いことがうかがえます。

質問 11 飼犬について、苦情を言われたことがありますか。また、どのような内容でしたか。

ない 94(81.0%) ある 16(13.8%)

(苦情の内容)

- ・ 啼き声がうるさい
- ・ 夜間の啼き声がうるさい
- ・ 吠えられた
- ・ 放し飼いされて困る



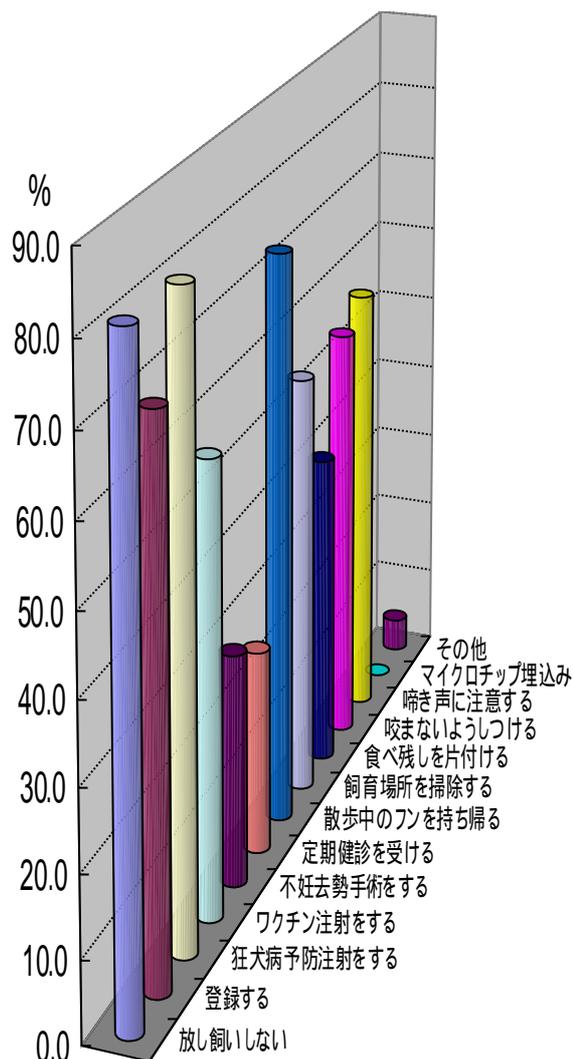
調査結果から、ある、は1割あまりですが、その内容は主に啼き声に関するもののようです。この地区の特徴の一つである、比較的住宅が隣接している環境が影響していると思われます。

質問 12 犬を飼うにあたって、どのようなことに配慮していますか（いましたか）
（複数回答可）

放し飼いしない	94(81.0%)	飼育場所を掃除する	63(54.3%)
登録する	80(69.0%)	食べ残しを片付ける	47(40.5%)
狂犬病予防注射をする	93(80.2%)	咬まないようしつける	63(54.3%)
ワクチン注射をする	66(56.9%)	啼き声に注意する	66(56.9%)
不妊去勢手術をする	34(29.3%)	マイクロチップ埋込み	0(0.0%)
定期健診を受ける	30(25.9%)	その他	5(4.3%)
散歩中のフンを持ち帰る	85(73.3%)		

（その他の内容）

- ・ 狩猟用のしつけを行う
- ・ 抜け毛や臭いに注意する
- ・ 外出時に連れ出す
- ・ 食事と病気に注意する
- ・ 他人に迷惑をかけない飼い方をする
- ・ 毎日散歩する



調査結果から、最も多いのは 放し飼いしない、であり、次いで 狂犬病予防注射をする、散歩中のフンを持ち帰る、の順に多くなっています。

逆に マイクロチップ埋込み、は0%であり、ほとんど普及していないことがわかりました。

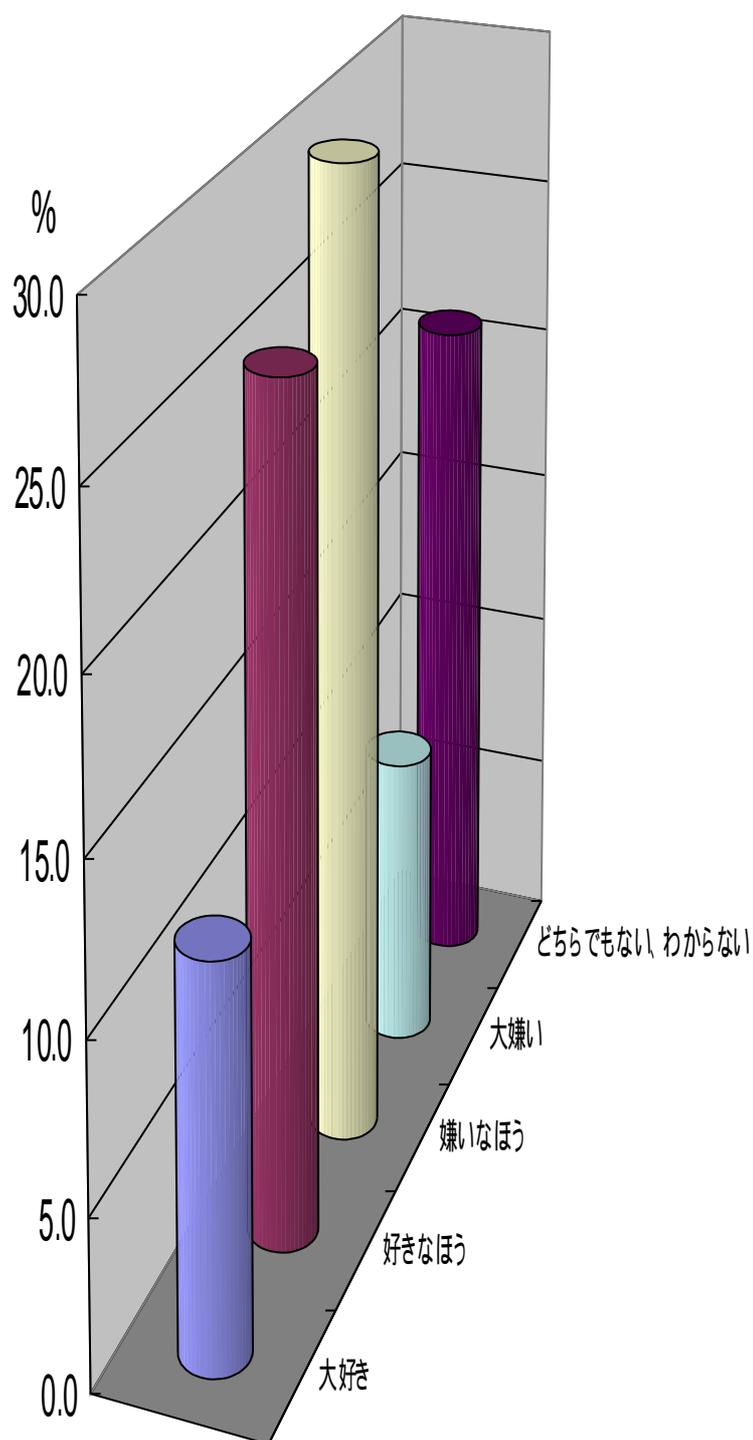
前提にある 登録する、が 狂犬病予防注射をする、よりも低く、犬の登録の必要性が十分理解されていないことがうかがえます。

また、本事業のきっかけとなった犬のフン放置に関連した 散歩中のフンを持ち帰る、が3番目に多く、約75%とおよそ4世帯に3世帯がフンの持ち帰りに配慮している点も興味深い結果となりました。

ここからの質問は、引き続き全てのみなさんがお答えください。
回答世帯：211 世帯（対象世帯の 45.9%）

質問 13 ねこが好きですか。

大好き	25(11.8%)	大嫌い	19(9.0%)
好きなほう	54(25.6%)	どちらでもない、わからない	44(20.9%)
嫌いなほう	63(29.9%)		



調査結果から、
嫌いなほう、
大嫌い、を併
せると約 39%と、
大好き、好
きなほう、を合
わせた約 37%を
わずかに上回っ
ています。

質問 14 それは、なぜですか。

(好きな理由)

- ・ 癒されるから
- ・ かわいいから
- ・ 子ねこから飼うと家族になるから
- ・ 咬まないから
- ・ 吠えないから
- ・ 飼って見たらかわいかったから
- ・ 幼少より動物がそばにいたから
- ・ 純粹だから
- ・ 家を守ってくれるから
- ・ 動物が好きだから
- ・ 弱いものは愛おしいから
- ・ 気ままな性格だから
- ・ 愛らしいから

(好きでない理由)

- ・ 屋内飼いしなければならないから
- ・ 毛が抜けるから
- ・ アレルギーを持っているから
- ・ どこにでもフンをするから
- ・ 以前引っかかれたから
- ・ 興味なし
- ・ 尿が臭いから
- ・ 家屋に入りこむから
- ・ 意図が読めないから
- ・ 懐かないから
- ・ 野良猫が多かったから
- ・ 世話が難しいから
- ・ 自動車への被害に困っているから
- ・ フンの処理が面倒だから
- ・ 見かけないから
- ・ なんとなく
- ・ 臭いから
- ・ 故意に敷地に入ってはフン尿をするから
- ・ 神出鬼没だから
- ・ フン害に困っているから
- ・ 飼いねこでも咬むから
- ・ 動物が苦手だから
- ・ フン害を受けて嫌いになった
- ・ 飼って見ないとわからないから
- ・ 目と性格が苦手
- ・ かわいいと思うが飼いたいとは思わないから
- ・ 縁がないから
- ・ かわいいと思えないから
- ・ 気持ち悪いから
- ・ 放し飼いされているから
- ・ 被害を受けたから
- ・ ゴミを荒らすから
- ・ 屋内外の区別がないから

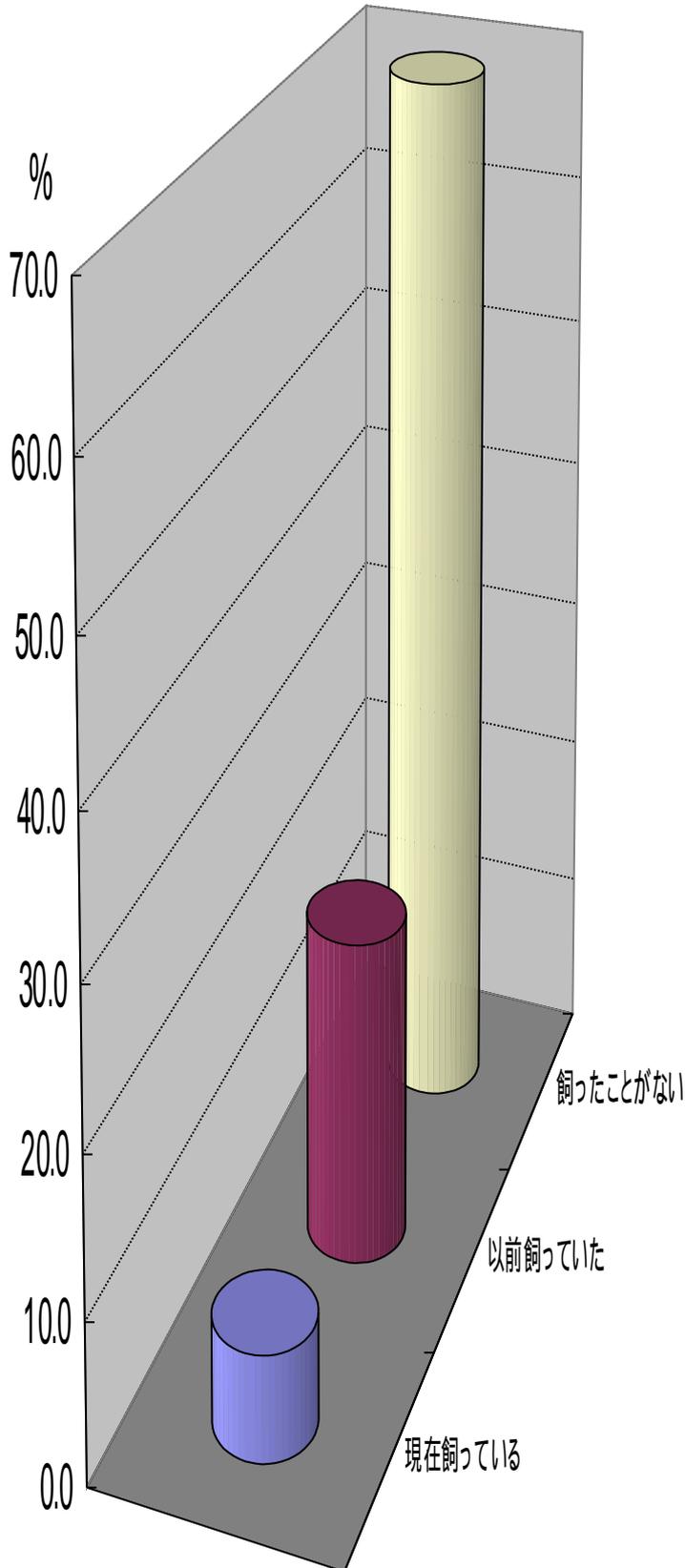
調査結果から、好きな理由には、咬まない、吠えないなど人間の身体に対しての直接的な害が少ないことに起因するものが多く、嫌いな理由には、人間に対して従属的な立場になりにくい性質であることや、外飼いねこや野良ねこなどによる生活環境に受ける被害に起因するものが多いことがうかがえます。

また、好きでない理由が具体的であり多岐にわたることから、犬に比べ好き嫌いがはっきり分かれる傾向がうかがえます。

質問 15 ねこを飼った経験がありますか。

現在飼っている 14(6.6%)
以前飼っていた 44(20.9%)

飼ったことがない 146(69.2%)



調査結果から、飼ったことがない、が約70%と、多くの世帯でねこを飼った経験がないことがわかりました。

ここから質問 22 までは、質問 15 で 現在飼っている、 以前飼っていた、とお
答えいただいた方のみお答えください。

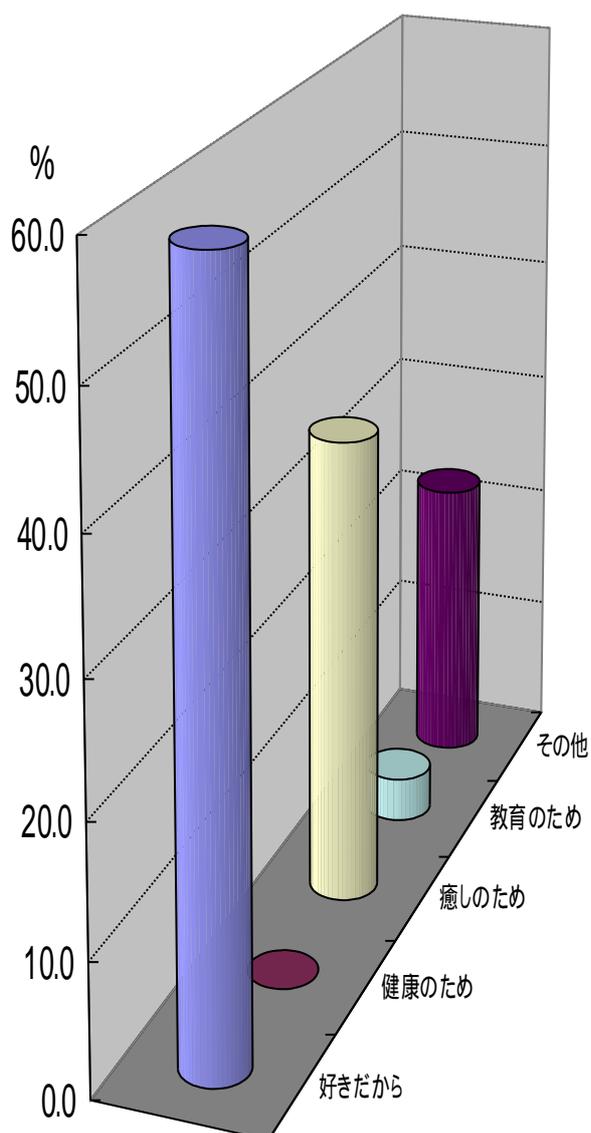
回答世帯：58 世帯（対象世帯の 12.6%）

質問 16 どのような目的で飼っていますか（いましたか）。（複数回答可）

好きだから	34(58.6%)	教育のため	2(3.4%)
健康のため	0(0.0%)	その他	13(22.4%)
癒しのため	21(36.2%)		

（その他の目的）

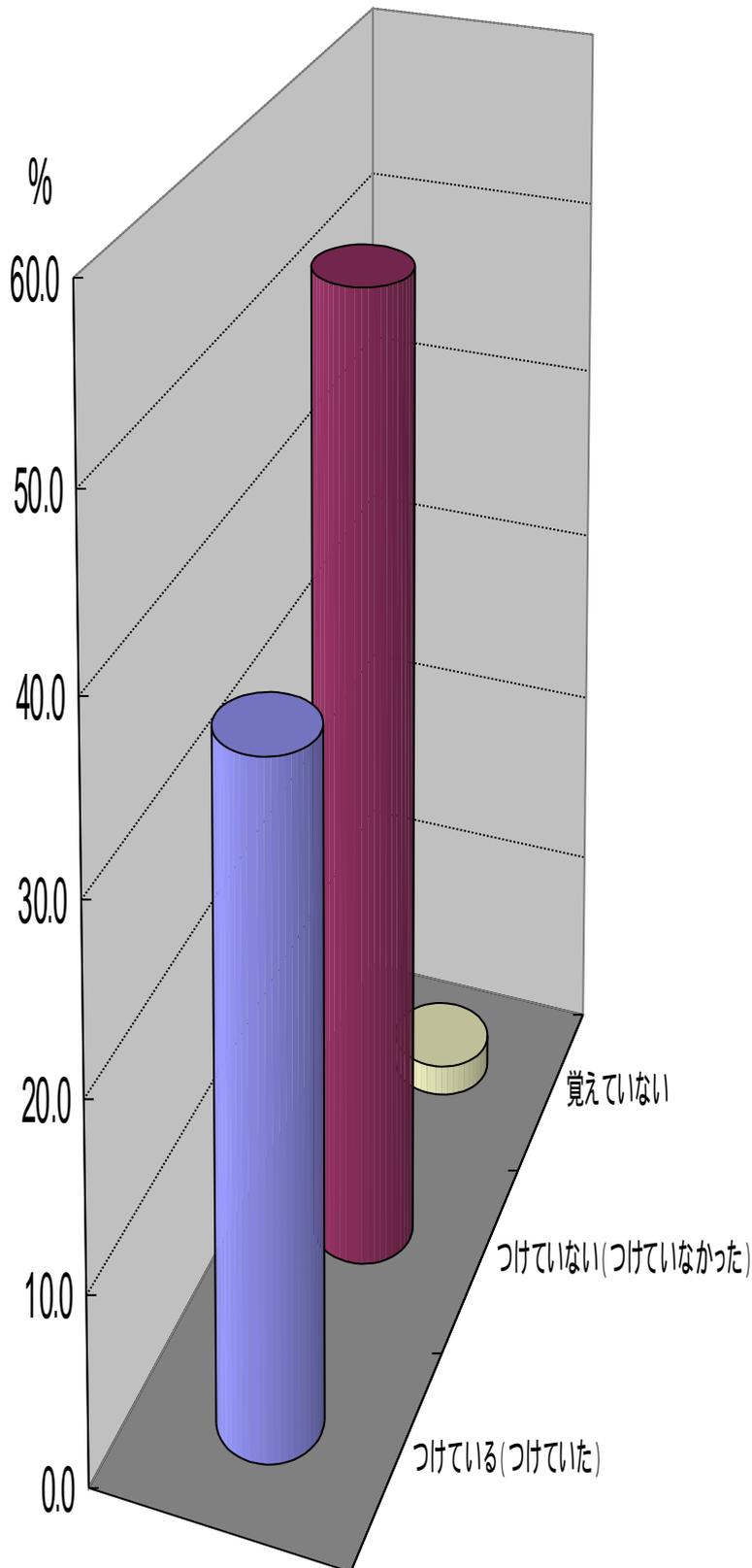
- ・ 親が飼っているから
- ・ 子どもが捨てねこを保護したから
- ・ 譲られた責任があるから
- ・ 捨て猫を保護したから
- ・ 迷いねこを保護したから



調査結果から、
質問 6 の調査結
果同様、好きだ
から、などの理
由の他に、保護
した、など必ず
しも望んで飼い
始めたとはいえ
ない理由も少な
からずあること
がわかりました。

質問 17 飼いねこに飼い主が特定できる目印(名札等)をつけていますか(いましたか)。

つけている(つけていた)	21(36.2%)
つけていない(つけていなかった)	31(53.4%)
覚えていない	1(1.7%)



調査結果から、質問7の犬の場合とは逆に、半数以上の世帯で個体識別措置が講じられていない、または講じられていなかったことがわかりました。

質問 18 それは、なぜですか。

(つけている、いた理由)

- ・ 飼い主がすぐわかるように
- ・ 親の意思だから
- ・ 名前を呼ばれてかわいがられるように
- ・ 外に出ることがあるから

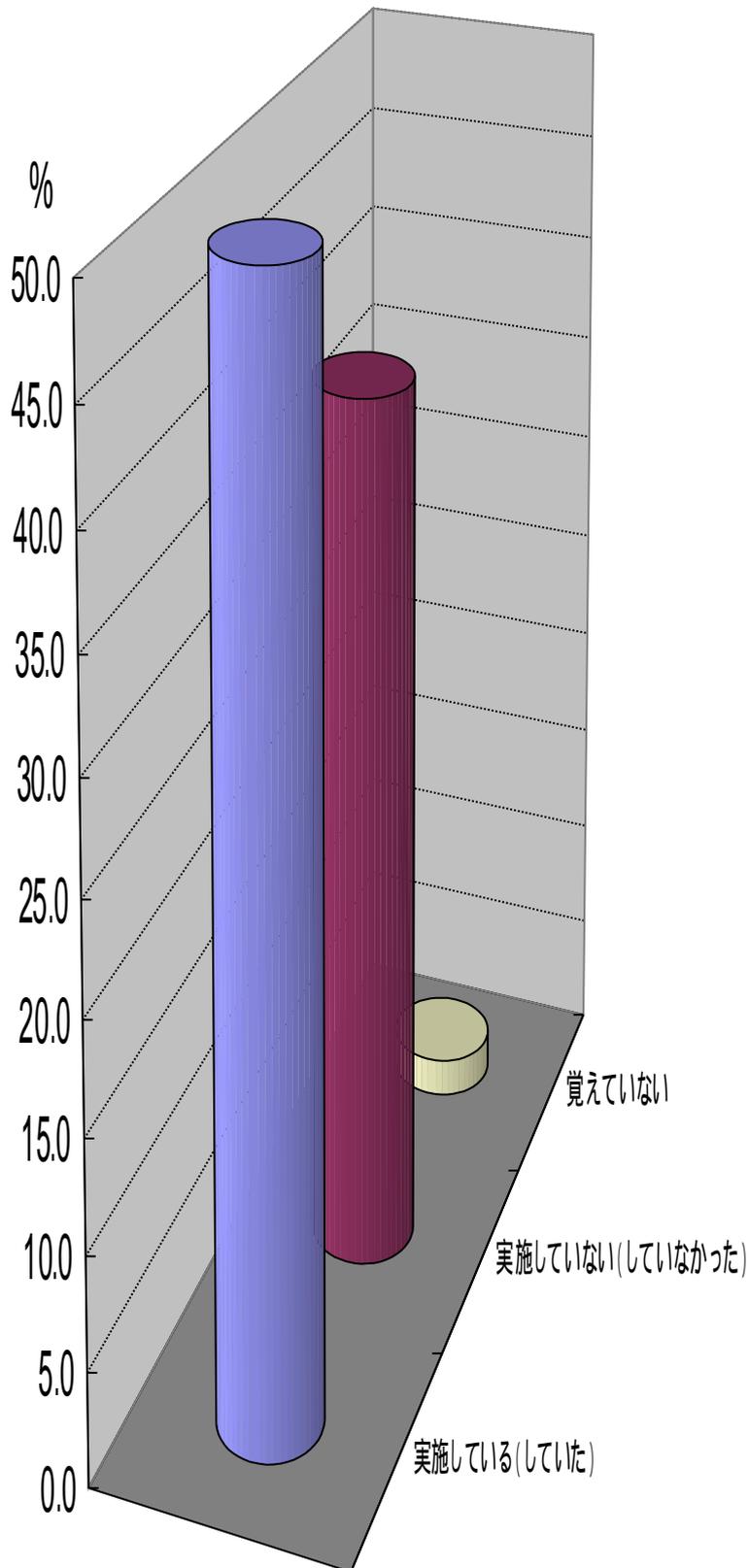
(つけていない、いなかった理由)

- ・ 屋内飼いだから
- ・ 30年前はそれが普通だったから
- ・ 必要性を感じないから
- ・ 外に出ても必ず帰ってくるから
- ・ ねこが嫌がるから
- ・ 50年前の田舎ではそれが普通だったから
- ・ 自由に歩けないねこだから
- ・ 60年前はそれが普通だったから

調査結果から、質問 8 の調査結果同様、つけている理由には、責任の所在を明確にしたい飼い主の意識に起因するものが多く見受けられましたが、つけていない理由には、外飼いが一般的であった時代背景やその時代から続く習慣に起因するものが多いことがうかがえます。

質問 19 飼いねこに不妊・去勢手術を実施していますか(いましたか)。

実施している(していた)	29(50.5%)
実施していない(していなかった)	23(39.7%)
覚えていない	1(1.7%)



調査結果から、質問9の犬の場合とは逆に、半数以上の世帯で不妊・去勢手術を講じている、または講じていたことがわかりました。

質問 20 それは、なぜですか。

(手術している、した理由)

- ・ 生まれた子ねこのもらい手に困るから
- ・ 子ねこを増やさないように
- ・ 生まれた子ねこまで飼えないから
- ・ 健康面のため
- ・ 親の意思だから
- ・ 万一の備えのため
- ・ 繁殖を望まなかったから
- ・ 啼きにくくさせるため
- ・ 外に出ることがあるから
- ・ 発情がくるのを防ぐため

(手術していない、しなかった理由)

- ・ オスだったから
- ・ 屋内飼いだから
- ・ 30年前はそれが普通だったから
- ・ 出産を経験させたかったから
- ・ 必要性を感じないから
- ・ 金銭面のため
- ・ 実施予定だから
- ・ 機会がなかったから
- ・ 50年前の田舎ではそれが普通だったから
- ・ 60年前はそれが普通だったから

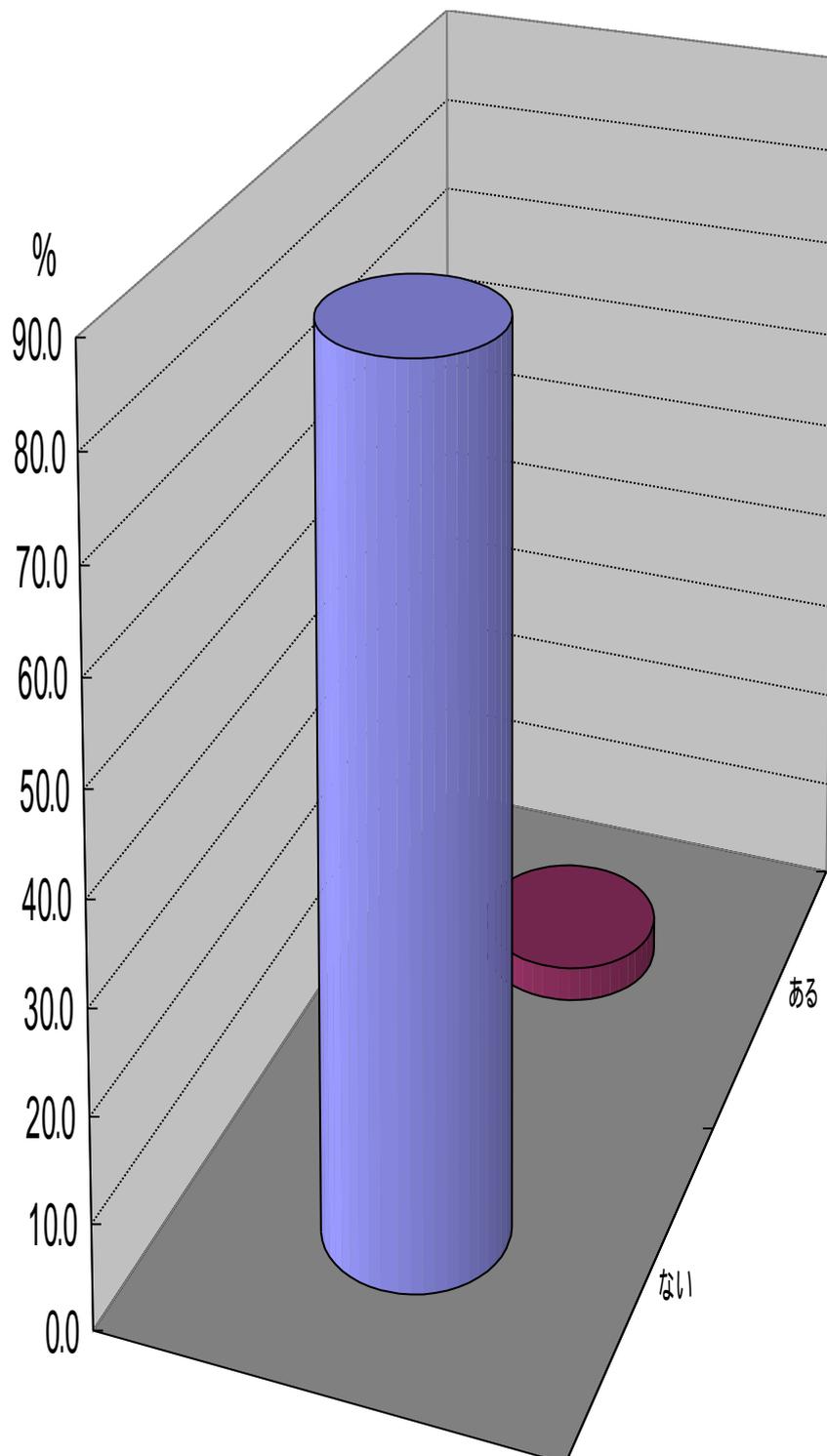
調査結果から、質問 10 の調査結果同様、手術した理由には、近隣の住民やねこのみならず生まれてくる子ねこに対する飼い主の責任意識に起因するものが多く見受けられましたが、手術していない理由には、必要であると思えない飼育環境に加え、外飼いが一般的であった時代背景やその時代から続く習慣に起因するものが多いことがうかがえます。

質問 21 飼いねこについて、苦情を言われたことがありますか。また、どのような内容でしたか。

ない 50(86.2%) ある 2(3.4%)

(苦情の内容)

- ・ 近所の小鳥を襲った
- ・ 近所で悪さをした



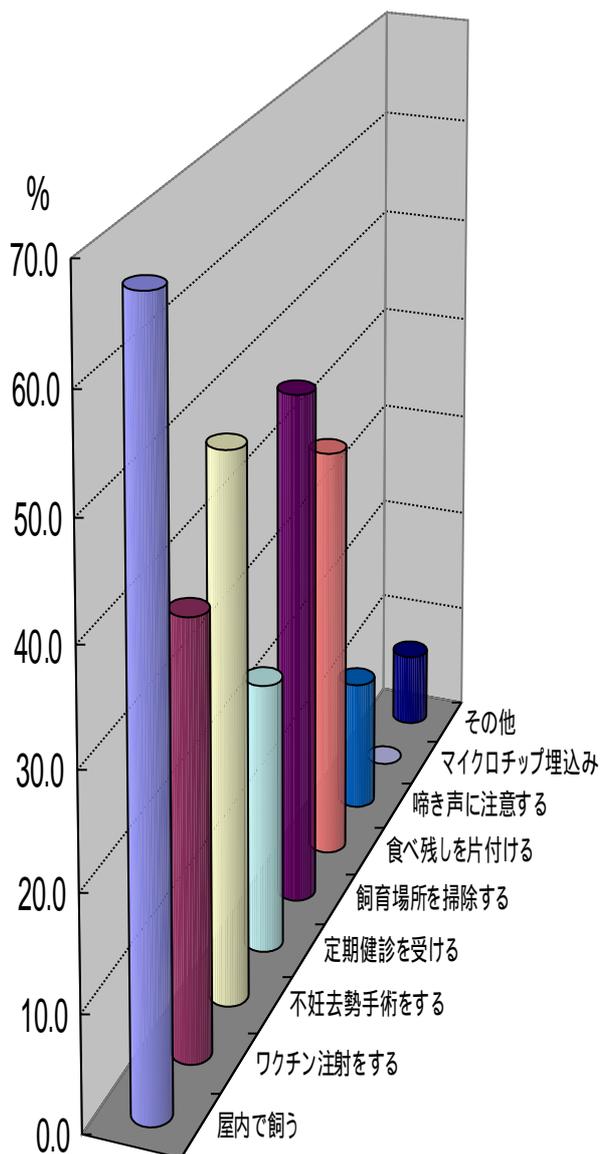
調査結果から、ある、はごくわずかですが、その内容は外飼いに起因するものようです。

質問 22 ねこを飼うにあたって、どのようなことに配慮していますか（いましたか）
（複数回答可）

屋内で飼う	39(67.2%)	食べ残しを片付ける	22(37.9%)
ワクチン注射をする	22(37.9%)	啼き声に注意する	7(12.1%)
不妊去勢手術をする	28(48.3%)	マイクロチップ埋込み	0(0.0%)
定期健診を受ける	14(24.1%)	その他	4(6.9%)
飼育場所を掃除する	27(46.4%)		

（その他の内容）

- ・ 近所に飼っていることを周知する
- ・ トイレのしつけをする
- ・ 抜け毛を処理する
- ・ フンを処理する
- ・ 50年前の田舎では配慮することがなかった



調査結果から、最も多いのは 屋内で飼う、であり、次いで不妊去勢手術をする、飼育場所を掃除する、の順に多くなっています。

逆に マイクロチップ埋込み、は質問 12 の調査結果同様 0%であり、ほとんど普及していないことがわかりました。

犬と異なり、トイレのしつけにより飼育場所を頻繁に掃除しなけばならず、逆に犬ほど声が大きくなり、また、屋内で飼うことにより啼き声に対する配慮をさほど必要としないことがうかがえます。

また、屋内で飼う、のであれば必要がないと思われる 不妊去勢手術をする、が3番目に多い点も興味深い結果となりました。

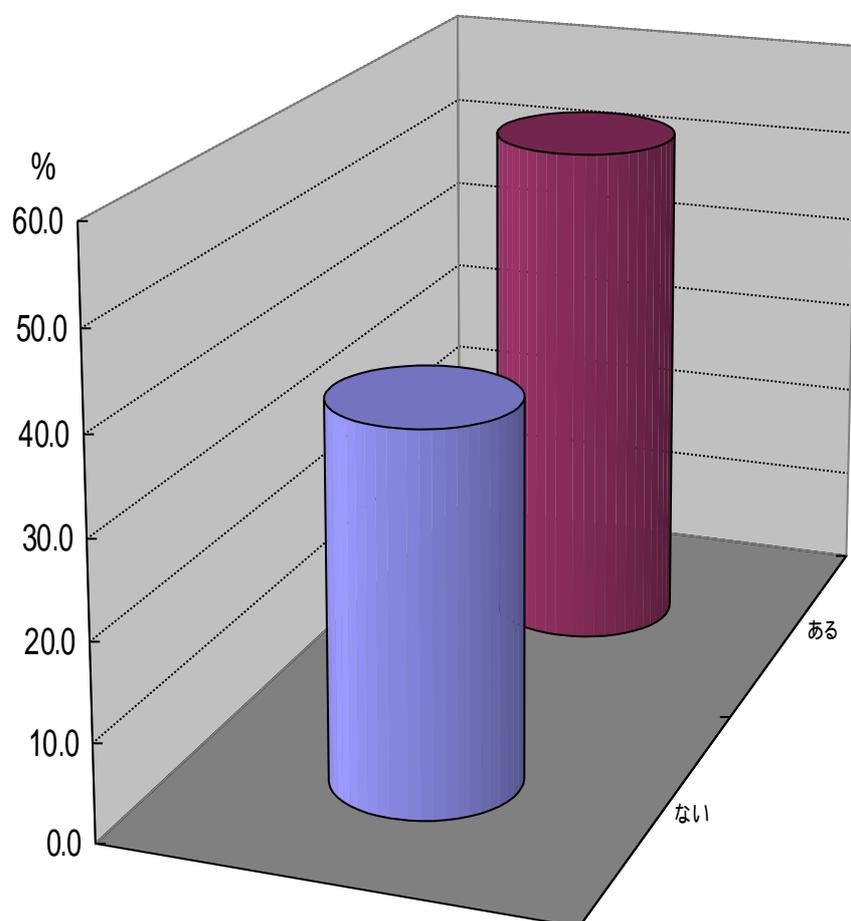
ここからの質問は、引き続き全てのみなさんがお答えください。
回答世帯：211 世帯（対象世帯の 45.9%）

質問 23 犬（飼い主の有無を問わず）によって迷惑や被害を受けることはありますか。
また、どのような内容ですか。

ない 82(38.9%) ある 113(53.6%)

（迷惑等の内容）

- ・ 夜間の啼き声
- ・ フン放置
- ・ 追いかけられた
- ・ 敷地侵入
- ・ 啼き声
- ・ 放し飼い
- ・ 門への放尿
- ・ 咬まれた
- ・ 吠えられた
- ・ 早朝の啼き声
- ・ 田畑への被害
- ・ 飛びつかれた



調査結果から、半数をこえるみなさんが犬による迷惑や被害を受けたことがわかりました。

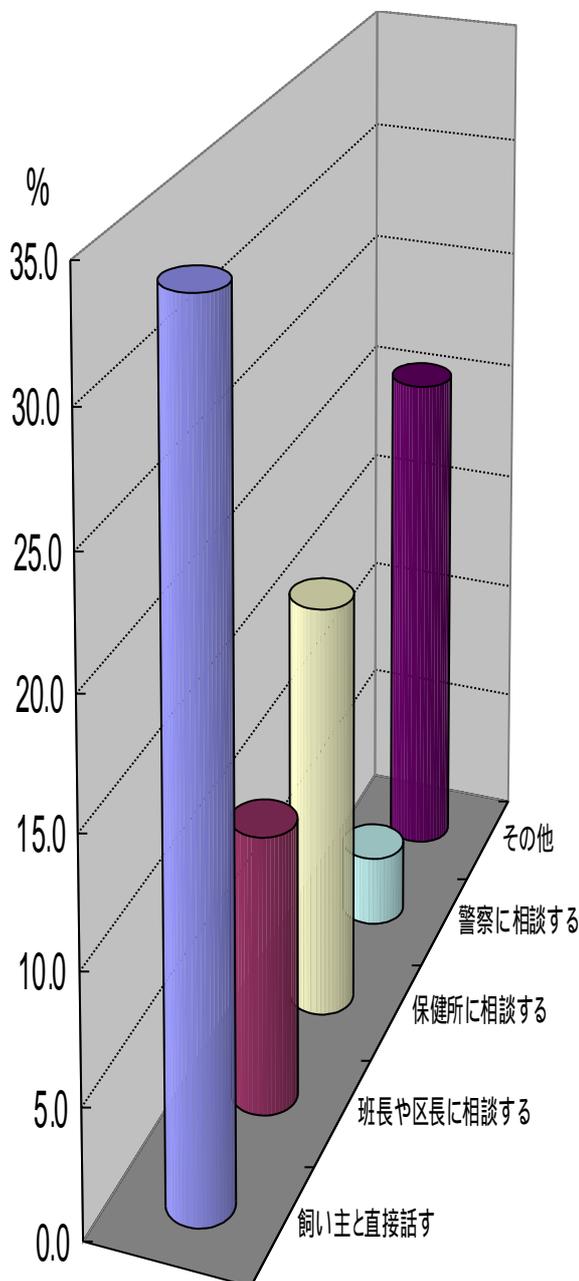
その内容は、放し飼いやフン放置、啼き声など、飼い主のしつけやマナーの低下に起因するものが多いことがうかがえます。

質問 24 飼い犬によって迷惑を受けたり被害があった場合、どうしますか。

飼い主と直接話す	71 (33.6%)	警察に相談する	6 (2.8%)
班長や区長に相談する	23 (10.9%)	その他	43 (20.4%)
保健所に相談する	35 (16.6%)		

(その他の内容)

- ・ 飼い主が分かれば直接話す
- ・ 飼い主不明の場合は区長に相談する
- ・ 飼い主不明のため我慢する
- ・ 飼い主の性格等、状況により相談先は変わる
- ・ 相談先不明のため我慢する
- ・ フン放置防止の措置を講ずる



調査結果から、班長や区長に相談する、保健所に相談する、警察に相談する、を合わせると約 30%と、飼い主と直接話す、に迫る結果となっています。

また、その他、の内容には、飼い主の性格や被害の内容等により相談先を変える、というものもありました。

このことから、当事者同士で自ら解決するのではなく、第三者に解決を求める傾向がうかがえます。

さらに、その他、の内容には、飼い主や相談先がわからず我慢する、というものもありました。

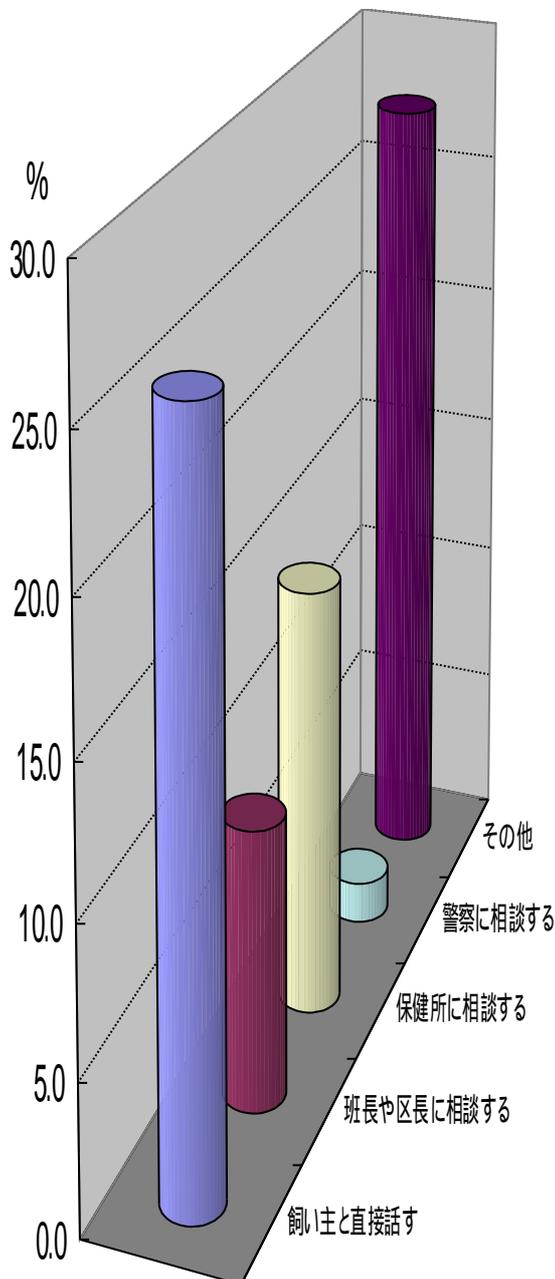
町内会などの活動に参加しなかったり、会った際のあいさつをしなかったりといった、いわゆる「ご近所づきあい」など人間関係の希薄化が一因であると思われます。

質問 26 飼いねこによって迷惑を受けたり被害があった場合、どうしますか。

飼い主と直接話す	54(25.6%)	警察に相談する	3(1.4%)
班長や区長に相談する	20(9.5%)	その他	58(27.5%)
保健所に相談する	31(14.7%)		

(その他の内容)

- ・ 飼い主が分かれば直接話す
- ・ 飼い主不明の場合は区長に相談する
- ・ 飼い主不明のため我慢する
- ・ 飼い主の性格等、状況により相談先は変わる
- ・ 相談先不明のため我慢する
- ・ 敷地への侵入防止の措置を講ずる



調査結果から、班長や区長に相談する、保健所に相談する、警察に相談する、を合わせると、飼い主と直接話す、と並ぶ結果となっています。

また、質問 24 の調査結果同様 その他、の内容には、飼い主の性格や被害の内容等により相談先を変える、というものもありました。

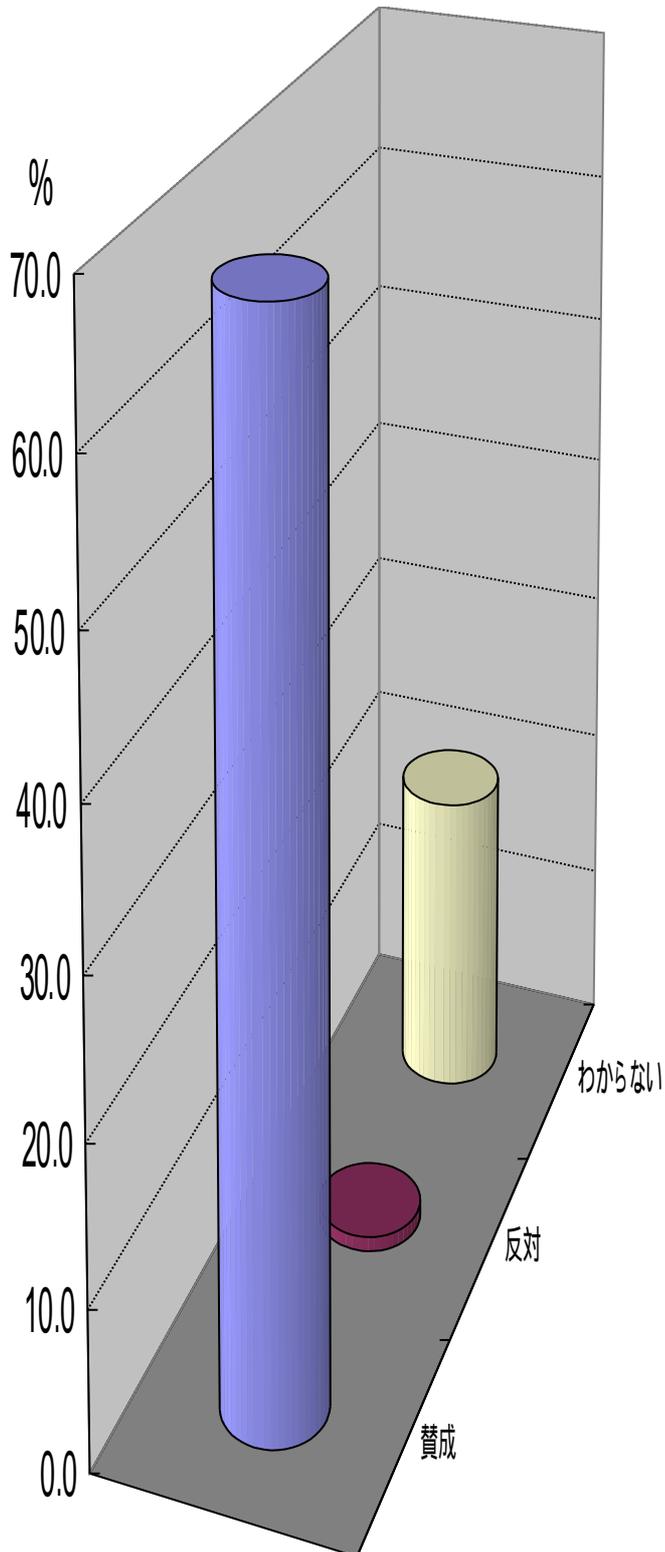
しかし、犬の場合と異なり その他、の内容の多くは、飼い主や相談先がわからず我慢する、というものでした。

このことから、犬の場合以上に、当事者同士で自ら解決するよりも、第三者に解決を求める傾向が高く、また、我慢しているみなさんが多いことがうかがえます。

いわゆる「ご近所づきあい」など人間関係の希薄化に加え、犬よりも近所における飼育実態が掴みにくく、行動が神出鬼没であることも要因であると思われます。

質問 27 行政嘱託員等地域の住民が散歩中のフンの放置等、地域住民の相談を受け、飼い主に飼い方の助言等を行う「動物愛護推進員」制度を設けている自治体もあり、本市もその創設について検討を始めていますが、この制度をどう思いますか。

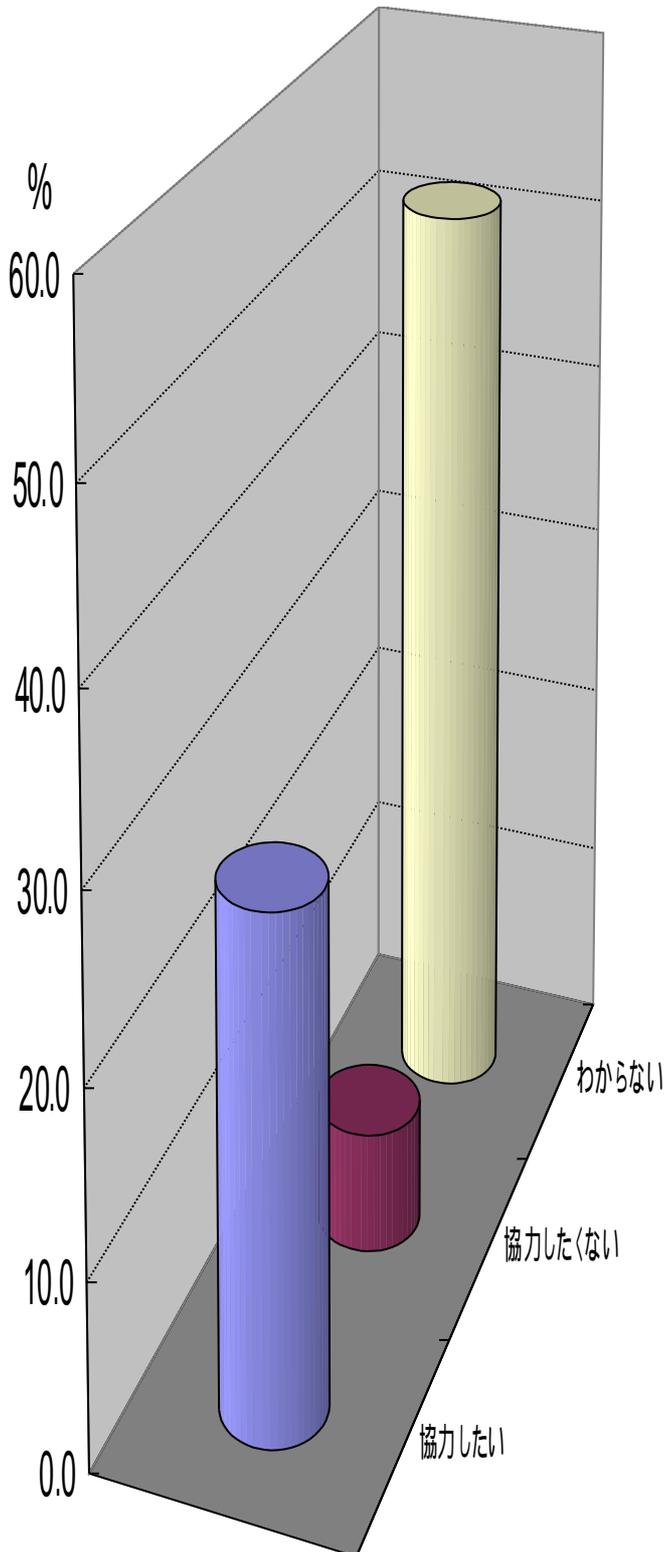
賛成	143(67.8%)	わからない	42(19.9%)
反対	2(0.9%)		



調査結果から、賛成、が約68%と、およそ3世帯に2世帯は動物愛護推進員制度に肯定的であり、制度そのものには良い印象を持っていることがうかがえます。

質問 28 動物愛護推進員制度の創設に先立ちこの地区をモデル地区とし、地域住民からなる「いわき市ペットマナーアップサポーター」がパトロール等、地域住民の相談に対応する活動を試験的に始めます。協力したいと思いますか。

協力したい	59(28.0%)	わからない	109(51.7%)
協力したくない	14(6.6%)		



調査結果から、わからない、が半数をこえる結果となりました。

本事業の内容が把握されていない段階での調査なので当然の結果といえます。

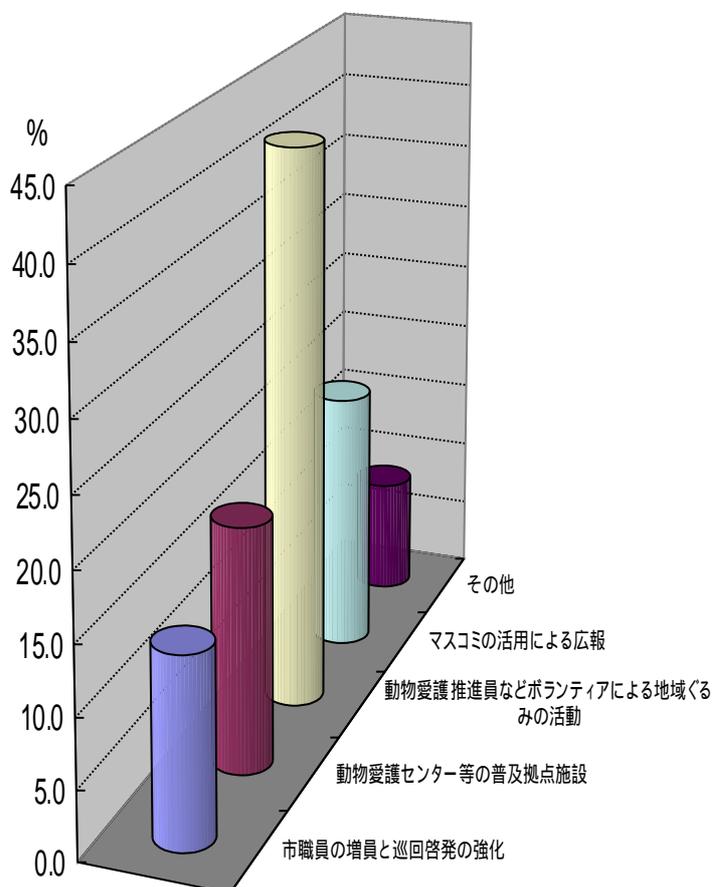
しかし、質問 27 の調査結果をふまれば、制度そのものは賛成だが協力にはためらいがある、という意識がうかがえ、多少残念な結果となりました。

質問 29 いわき市民がより一層動物愛護に関心を持ち、モラルやマナーを大切にする心を大きくするためには何が重要だと思いますか。(複数回答可)

市職員の増員と巡回啓発の強化	29(13.7%)
動物愛護センター等の普及拠点施設	38(18.0%)
動物愛護推進員などボランティアによる地域ぐるみの活動	88(41.7%)
マスコミの活用による広報	41(19.4%)
その他	18(8.5%)

(その他の内容)

- ・ 飼い主側の意識向上
- ・ 飼い主のモラル
- ・ 飼い主への定期的なモラルチェック
- ・ 飼い主の自覚
- ・ 小中学校での教育
- ・ 家族での話し合い
- ・ 飼い主のモラルの向上
- ・ ペットショップなどの協力
- ・ 飼い主の良識の問題
- ・ 愛谷町に事務所のある議員に依頼し、警察の巡回、派出所の設置依頼
- ・ 個人のモラル
- ・ 飼い主一人一人が気をつければいい
- ・ 犬など動物を飼っている人に対する教育



調査結果から、動物愛護推進員などボランティアによる地域ぐるみの活動、が最も多い結果となりました。

質問 27 及び 28 の調査結果をふまえ、まとめると、

- ・ 制度そのものは賛成
- ・ だが個人としての協力にはためらいがある
- ・ でも地域の問題を行政まかせではなく、地域で解決を図り、街を良くしていきたい

という意識がうかがえ、多少頼もしい結果となりました。

なお、その他、のうち少数ではありますが、ペットショップなど販売提供する立場からの適正飼養の啓発や小中学生など子どもに対する教育など、とても参考となる意見も寄せられました。

質問 30 最後に、この意識調査を含め、ご意見等あればご自由にお書きください。

(意見)

いわき市は、政令都市の為、市民生活迷惑防止条例の一日も早い制定をして下さい。

そうする事により、各部所別の縦割条例は必要なくなる為。

犬にしてもねこにしても飼い主はマナーを守ってほしい。

いわき市民は都会の人に比べ飼い主のモラルが低下していると思う。

モラル向上の指導や推進員に権限を持たせ啓発の強化に努めてもらいたい。

近来、日本人一人一人の思考が低下していて、他人がどうでも良いと自己中心主義で大変困っています。

個人の意識の低さが問題。

フンにしても植え込みに投げ入れてしまえばよいという臭いの被害を考えない人達が大勢いる。

自分の家族の子どものフンは持ち帰るべき。

全国的に捨て犬など野良犬が問題になっている。

犬やねこに限らずすべてのペット(動物)に対し登録制にして、飼い主に責任を持たせ、捨て犬などしたら罰金等罰則を設けて欲しい。

人間社会に害を及ぼす動物は当然殺すべし。

追い払うだけではどんどん増え害は大。

自然淘汰すべき。

私は動物嫌いです。

我家周辺に排便その他不潔で困っています。

誰でもペットを持っているが税金を課して(届出制)動物に関する道路その他衛生面に使用すべき。

まだまだありますが・・・

飼い主が散歩のときのフンの後始末やリードをつけて歩くなど人の迷惑にならないようにすれば問題は起きないと思いますが。

ねこにも首輪をつけ飼い主の名前をつける。

犬は絶対散歩中(特に公園)などで放し飼いをしないことに何か考えられないか。

飼っている犬がフンをしてそのままの人がいるのは犬を飼う資格がないと思われます。

手ブラで散歩させている人もいて驚きます。

自分も犬を飼っていてそういう人と同じに見られるのは嫌です。

マナーがなっていない人が多いのかと残念です。

この調査がどのように役立つかは分かりませんが一部飼い主のモラルの低下が一因だと感じます。

マナーを守れない人が多すぎる。

マナーを守れない人は飼う資格がない。

ねこを何匹も飼っている家があります。

捨てねこを拾って飼育しているようですが、その家からの臭いが臭く、外に出さないと云いますが、勝手に出ているようです。

また、手に負えないと違う所に捨てているようなこともしています。

拾って飼育するなら最期まで責任を持って欲しいです。

また、犬のフンの後始末をしない人が多く、散歩中に数多く見かけます。
フンの中には病原菌等があり不衛生です。

飼い主のマナーとモラルが問われるので同じ飼い主でも同様に見られるのが
迷惑です。

がんばってください。

このような調査があることは、生活に余裕があることより、今日の人と人との
かかわりが少なくなっている社会事象から、ペットとしての動物に精神的な
慰めや癒しを求めているという風潮ともとられます。

地域社会でのより人と人とのよりよい関係を動物愛護同様に必要で大切なもの
であると思われるこの世情です。

自分で飼う事は責任をもってマナー、フン放置をする事を、他人に迷惑を極
力かけずにして欲しい。

ナイロン袋を持っているだけでフンを置き去りにする人もいるから注意して
も逆ギレされ、飼っていないのになぜ処分に追われるのかイライラする。

いわきは動物愛護が遅れていると感じます。

市としてのペットの火葬対応はゴミと一緒にとか・・・

ネットや保健所での譲渡会等あれば。

せめて引き取りの制度とかあれば不幸な子も減ると思います。

もしあるのでしたら大々的に知らせて欲しい。

飼い主のマナーの徹底、野良犬、ねこの排除

公共施設（白土公園等）、河川（新川、夏井川等）の通路（通学）等に“フ
ン”が何ヶ所かに置きざりにしてある（何回か片付けた事有）。

放し飼いはしないでほしい。

住宅内でも、犬の散歩は必ずやらねばならない様です（排出のため）。

飼い主のマナーを信じます。

放し飼いはしないで。

こわいです。

さんぽの時のフンはしまつして下さい。

抜け毛のしまつをしてほしい。

ペットマナーアップを飼い主が自覚し、他人に迷惑をかけないようにすべき
である。

飼いねこも犬同様にさんぽさせたら良いと思います。

特にねこの飼い主の意識改革をお願いしたいです。

子供の様にかわいがるのならせめて自宅で排便の躰をするべきです。

毎朝庭に出ては不快な思いをします。

自分のねこが他人の庭で用を足して迷惑をかけていることを分かってほしい
です。

ねこを飼っている方にペットマナーアップサポーターを積極的にやってもら
いたいです。

飼い主のモラルの向上。

動物愛護大切にしている心・関心を持っておりますが、自分自身が不健康ですの
で活動に協力したいと思っております。

交通面での駐車違反調べとか今アンケートにある愛護推進員とかいろいろな
監視員が日常自分たちの住宅周辺にいるということは安心の反面、見張られて
いる・・・と感じないでもありません。

公衆道徳に対する意識の低下によりペットの問題なども起きるのでしょうから、やはり小さい時からの学習の積み重ねが住みよい町にもなるわけです。
その方面からの解決方法はないものでしょうか。

犬もねこも飼った事があるが、ねこは飼っていても外に出してしまうので、よその敷地に入らないようにしてもらいたい・・・と思っても入ってしまうものだから難しいと思う。

愛谷町に住んで35年になりますが庭やガレージに大便をされた事が3,4回、ねこに至っては庭をきれいにしておくとも毎回のようにはされて居ります。

又、門柱は小便で変色して居ります。

飼主は責任をもって頂きたい。

動物を飼う時は最後まで責任をもって欲しい。

飼主は責任をもって頂きたい。

道路を歩いていたり公園等に行くと、フンがそちこちにあり、犬が歩いていたり(姿を見ると)ぞっとする時があります。

公園で砂場等では遊ばせたくない気持です。

犬の入らない(禁止)の札を見ると安心致します。

そう言う気持にならないよう、飼い主の方は一人一人マナーに気を付ければ良いことなので、可愛いと思って飼っているなら心を持って気を付けて欲しいと願っております。

犬のフンなどは衛生的にもよくないので、飼い主はきちんとフンを持ち帰るようにしてほしい。

見つけたら注意してやろうと思います。

朝、玄関の近くや車のタイヤのそばにフンが置きっぱなし、もう、うんざりです。

どんなに素晴らしい制度を設けてもモラルやマナー違反をしている飼い犬を特定出来なければ何の意味もないと思います。

散歩しても土手に犬のフンがたくさんあります。

犬をつれている人、袋を持っていてもフンを取るのをみたことはありません。片づけません。

飼い主は責任持って世話をしてもらいたい。

土手はすぐきたなくて散歩もゆううつになる時があります。

犬は飼いたくないです今は。

犬の散歩は運動のためと思っていたが、何やらふん、尿をさせるためのようなきがみられる。

犬ねこのしつけの講座などを持ったらどうか。

犬ねこのフンは街中の道端ばかりでなく公園や学校の砂場、植え込み等にも多く見られるようです。

小さい子供にはアレルギー等深刻な事態になる場合があるので実態調査、具体策よろしく願います。

ペットマナーアップサポーター、動物愛護推進員の為に野犬、野ねこ、捨犬、捨ねこ等が保健所 赤井とならない様に。

市職員と動物愛護推進員の連携により1匹でも不幸な最後に追いやられる動物をなくす。

フンの持ち帰りなど基本的マナーは当然持たなければならぬと思う。

飼っていない人にとっては迷惑そのものだから・・・

でも行き過ぎすぎるパトロールはどうか？と思う。

ペットは最後までめんどろをみてほしい。

飼っている方の常識、マナーだと思います。

犬の散歩の時、我家の犬はおりこうだと思っているらしく、リード無しでと、散歩している方がいます。

子どもを外で遊ばせす事が出来ません。

以前犬を飼っていましたが動物を飼うと言うことはたいへんな事だと思います。

ただ好きだけではどうにもなりません。

意識の向上、マナーアップはとても必要なことと思います。

今、一番困っていることは、犬を散歩している方のマナーの悪さです。

犬が通っていった後のフンと尿の後処理です（早朝と夜遅くがこまります）。

意識向上によりひとりひとりが責任をもって動物を飼ってほしいと思います。

近所の飼い主なのですが、私がしているだけで2匹目です。

あまり散歩をしている所を見たことがなく以前いた犬も今いる犬も「クサリ」が切れて家のそばをうろうろしてとても迷惑でした。

飼い主には二度ほど注意をしました。

夜遅く散歩する方は静かにしてほしいです。

自宅前の道路等、犬かねこの便がある時があります。

便の始末はきちんとするようになってもらいたいと思います。

愛谷町の名簿に犬やねこを飼っているかどうかを一覧に入れたらどうか。

明らかに多く飼いきすぎていて従業員等に散歩させ、ふんをそのままにするのは自制すべきだと思う。

ここに来てまだ数年だが、犬のフンが異常に多い町だと思う。

また空き巣も多いので警察は隠れてネズミ捕りしているヒマがあったら犯罪の防止、巡回に努力して欲しい。

地味だが小銭かせぎに走るよりよほど尊い仕事だと思う。

愛谷町に事務所のある議員にもしっかり関心を持って欲しいです。

飼主本人のモラルとマナー以外になにもないと思う。

飼主の名前を公表してはどうでしょう。

動物を飼う人はとにかくマナーを守ってほしい。

生ゴミについて鳥対策は進んでいるが、犬ねこには手をやいているようだ。

飼い主の常識がないのにおどろきです。

犬のふんは燃えるゴミにだせることを知らない飼い主も多いのでは？

その点をPRすれば放置する人がへるのでは？

散歩コースに放置されるのは散歩する方も迷惑なのでちゃんとしてほしい！

放置する人は人の目につかない暗い時間帯に散歩しているのではないのでしょうか。

その時間帯も活動してほしい。

今の世の中は無責任な人が多いことが原因と思われれます。

私達の子供のころの親の「しつけ」が違うことでしょうか？

市は仕事やお金のかからない方法を考えて下さい。

犬、ねこを飼っている人は責任を持って最後までめんどろを見る事だと思います。

犬の糞はとても多いと思います。

白土公園や堤防沿いなど散歩するのにとてもいい所なのに、フンが多すぎて下ばかり見て歩くのでとても残念です。

飼い主の方の自覚のなさにがっかりしてます。

集金の時も、すごく吠えられて怖い思いをしました。
